

おひさま ササガ

2013



vol.124

5



はいっポーズ!

《温根湯地区・松山》

苦米地あかりさんとしほ颯くん・りん凜くん
りょう龍くん・らいと輝くん
(紹介は2ページです)

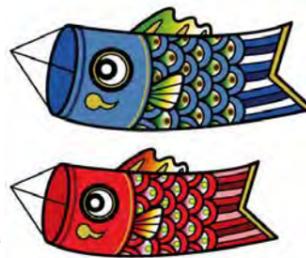
特集

食中毒から
家族を守る



～馬鈴薯の 植え付け作業～

季節の薫り



春の植え付け作業が始まった4月下旬、最も気になるのは天気だが、期待した穏やかな天候はなかなか続かない。生産者のみなさんは畑の状態をみながら、各作物の植え付けを急ぎ進めていく。

早出し馬鈴薯の植え付け作業も、例年通り始まった。切り分けられ、早く芽を出すよう太陽の光を浴びせ準備していた種芋が、ポテトプランターで次々と畑に播種されていく。

馬鈴薯を取り巻く販売環境は、依然として厳しい状況にあるが、きたみらい地域の基幹作物、そして畑の輪作体系を守っていく上でも大切な作物だ。

昨年は、異常気象に悩まされた一年であった。今年は、災害がないことを願い、豊作めざし、産地として消費者の期待に応えようと、生産者は日々、天気や土と格闘し続ける。



写真：4月26日午前11時、端野地区・北登の平川千春さんの圃場で撮影。きたみらい管内における今年の馬鈴薯の作付面積は2700㌦で、8万9千㌦の生産量を見込んでいます。なお、写真はポテトプランターで種芋を植え付けする平川さん、写真左はプランターに種芋をセットしているところです。

もくじ CONTENTS

○おひさまサラダクッキング 「春野菜のパスタ」 「クレソンのポタージュ」	24 14
○JAからのお知らせ	14
○ほのぼの広場 ・きたみらいのホープさん ・マイティスト 「釣り」 ・思い出の写真 ・私のパートナー ・わが家のアイドル ・大きくなったら ・おらがまちのおしどり夫婦 ・まちがいきがし ・読者の声	10
○JAきたみらい ホットライン東西南北	6
○表紙紹介 「なかよし4兄弟」	2
○季節の薫り	2
特集① 食中毒から 家族を守る	4

表紙紹介

なかよし4兄弟

畑にトラクターが走り始めた4月26日、苦米地さんの家に着くと、取材のために集まってくれた颯くん、稟くん、龍くんと、お母さんに抱っこされた輝くんが元気に迎えてくれました。

一番上のお兄ちゃんの颯くんは、この春から小学校に通い始め、休み時間に友達とボールで遊ぶのが何より楽しみで、カメラに向かって可愛らしい表情を見せてくれた稟くんと龍くんは、お父さんやお母さんが運転する車で保育園に通います。取材中もお気に入りの車のおもちゃに乗って元気いっぱい。家では兄弟みんな「鬼ごっこや戦いごっこをして遊ぶよ」と話してくれました。

10ヶ月になる輝くんは3人のお兄ちゃんたちに囲まれながら、お母さんの膝の上で静かな様子。好きな食べ物りんごで、お土産に持って行ったぶどうも喜んで食べてくれました。そんな輝くんを気にかけて、颯くんは「種は出してね」とお兄ちゃんぶりを発揮していました。

お父さんとお母さんは4人の子も大切に、「自分の好きなことに一生懸命頑張る元気に成長して欲しい」と優しく話してくれました。



【ご家族紹介】
前列左から～お父さんの大(ひろし)さんと輝(らいと)くん(10ヶ月)、
ひいおばあちゃんのタツ子さん(84)
後列左から～お母さんのあかりさん(26)、稟(りん)くん(4)、おばあちゃんの
順子さん(59)、龍(りょう)くん(3)、おじいちゃんの敬一さん
(60)と颯(しょう)くん(6)前列と一緒に写っているのは長男夫
妻の秀昌さん(34)、結衣ちゃん(2)、由紀子さん(35)です。
苦米地さんは経産牛や育成牛など約130頭を飼育する酪農専業農家です。

特集

食中毒から家族を守る

体調管理と手洗いが基本！

気温が上がる6月からは、食中毒が多く発生する季節といわれます。飲食店での食事だけでなく、家庭での日常生活にも発生の危険性が潜んでいます。家族を食中毒から守るために、どんなことに気を付けるべきでしょうか。

監修 社団法人 日本食品衛生協会 <http://www.n-shokuei.jp/>

季節性が薄れたとはいえ 暑い時期は要注意

食中毒の多くは、食肉・卵・飲料水・ペットなどの動物や、化膿（かのう）した傷のある手指で調理されて細菌類で汚染された食品を食べることによって起こります。一般的に食中毒は6月から9月頃まで、梅雨時期からの暑い季節に多いと考えられてきました。ところが近年、冬の寒い時期にもノロウイルスによる食中毒が多発するようになり、一年を通して食中毒への注意を怠らないことが大切になってきました。それでもやはり、暑い季節は要注意です。

暑い季節に家庭で 気を付けたいこと

なぜ暑い季節に食中毒が多発するのでしょうか。

うか。食中毒は、細菌類による汚染などで引き起こされますが、蒸し暑い季節は菌の繁殖が活発なのです。そのため、家庭で気を付けたいのは、食品に細菌を付けない（汚染させない）・増やさない・加熱するなどして殺菌することです。新鮮な食材を購入したら、できるだけ早く冷蔵庫や冷凍庫に保存しましょう。生鮮食品を購入してからの寄り道は、できるだけ控えてください。

調理するときには必ずしっかり手を洗い、清潔なタオルで拭きます。まな板や包丁、布巾も清潔なものを、できれば肉・魚・野菜と分けて使うようにすると、食品の汚染を防ぐことができます。食中毒の危険性が低くなりま

す。この時期の食事はなるべく生ものを避けて、しっかり加熱調理して食べましょう。食べ残しを長く保存しないこと。冷蔵庫を過信してはいけません。保存したものを食べるときに

は、必ず加熱することも忘れずに。

食中毒は、体調の良しあしも大きく関係しています。体調の良い場合は発症しにくく、たとえ食中毒を起こしても症状が軽く、気が付かないこともあります。逆に体調が悪いと、少量の細菌でも発症し、しかも症状は重くな

りがちです。暑さのために体調管理が難しい8月は、特に注意が必要です。家庭での体調管理にも注意しましょう。

食中毒を予防するには 必ず手洗い

食中毒を予防するには、食品には必ず細菌がいるという前提に立って注意を怠らないことが最善の方法です。とはいえ、過敏に反応して恐れることはありません。大切なのは、細菌の特徴を知って上手に付き合うことです。食中毒の原因となる細菌は「付けない・増やさない・殺菌する」ことが大切。細菌のほとんどは正しい手洗いで洗い流せます。指先だけでなく親指の付け根・爪の先・手首まで、せっけんを泡立てて洗うことがポイントです。まな板ですが、肉・魚・野菜それぞれで、使う面を使い分けるには、2枚のまな板が必要ですが、牛乳パックを洗って乾かしたものを代用する方法もあります。各家庭で工夫してみてください。

また、肉に触ったら手洗いしてから魚を触る、魚に触ったら手洗いしてから野菜、というように、手に付いた細菌や包丁・まな板に付いた細菌をそのつど洗い落とすことで、食中毒の9割が予防できるといわれています。ぜひ、家族みんなで正しい手洗いを実践してください。

食中毒予防6カ条

1 食品購入

生鮮食品は新鮮なものを購入し、購入後は寄り道せず真っすぐ持ち帰る

2 家庭での保存

冷蔵・冷凍庫にすぐに入れる（冷蔵庫は10度以下、冷凍庫は-15度以下）

3 下準備（1）

タオルや布巾は清潔なものを用意。まな板・包丁は食材によって別々にそろえるか、生の肉や魚を切ったまな板・包丁は洗って熱湯で殺菌する

4 下準備（2）

冷凍食品は電子レンジで解凍し、解凍後は再冷凍しない。カット野菜などはよく洗う

5 調理

下準備で汚れたタオルや布巾は乾いた清潔なものと交換し、よく手を洗ってから調理する

6 残った食品

温め直すときは、75度以上で十分に加熱。みそ汁、スープなどは沸騰するまで。カレーやシチューは温めるときによくかき混ぜる。時間がたったものは思い切って捨てる

手洗いの手順

外から帰ったときや、トイレ後、調理前・調理作業ごと（肉・魚・野菜の処理別に）、食事の前や料理の盛り付けの前、ペットに触れた後など、必ず手を洗おう！

- 時計や指輪を外す
- 手首から下を水でぬらす
- 手洗いせっけんを付けて
- よく泡立て、菌を浮き上がらせる
- 手のひらと甲（5回程度）
- 指の間と付け根（5回程度）
- 洗い残しの多い親指（5回程度）
- 爪の中の菌を出すために手のひらに指を立てて指先を（5回程度）
- 手首（5回程度）
- 水を十分にすすいでから、清潔なタオルで拭く

ココも大切

この季節、特に注意したい細菌類

毒素型



黄色ブドウ球菌

症状: 激しい吐き気と嘔吐（おうと）
特徴と原因: 鼻・口・傷・二キビなどにいる細菌。おにぎり、サンドイッチなど、調理する人の手から伝わり食品に付着する。
予防法: 手や指に傷がある場合は直接調理に関わらないか、薄いゴム手袋をして調理する。

感染型

カンピロバクター

症状: 発熱・頭痛・筋肉痛・下痢
特徴と原因: 生の鶏肉や牛肉が感染源となることが多い。
予防法: 鶏肉を生、または湯引き程度の加熱で食べることは避ける。牛肉も生食用の規格基準を満たしていないものは生食しないこと。十分に加熱して食べる。調理後のまな板・包丁・布巾はよく洗い、熱湯や漂白剤で殺菌する。

腸管出血性大腸菌O157

症状: 激しい腹痛・出血性の下痢・尿毒症や意識障害
特徴と原因: 感染すると腸管内でヘリ毒素という猛毒を産出する細菌類。大腸だけでなく、腎臓障害があり、脳や神経も攻撃する。感染したらすぐに医師の診断を受け指示に従う。
予防法: 生肉・生レバーを食べない。食材は十分に加熱（中心まで75度以上1分間以上）。食肉を扱った容器・包丁・まな板は熱湯で殺菌する。

サルモネラ

症状: 急性胃腸炎による下痢・嘔吐
特徴と原因: 自然界に広く分布。牛・豚・鶏などの食肉・卵・ペットなどからも感染。
予防法: 食肉や卵は十分に加熱すること（75度以上1分間以上）。時間の経過とともに増殖するので、マヨネーズ、ティラミスなどは早めに食べる。

腸炎ビブリオ

症状: 差し込むような腹痛と下痢
特徴と原因: 塩分濃度3%くらいの海水に生息するため、夏の魚介類には必ずいると思うこと。
予防法: 魚介類はできるだけ加熱して食べる。真水に弱いので、調理でまな板に載せる前に水道水でよく洗う。

土壌改善に向け 堆肥を学ぶ

～堆肥について 基礎から学習～



▲講師の説明を熱心に聞く部員のみなさん

青年部温根湯支部（東海林健支部）は4月3日、温根湯地区事務所にて「春の講習会」を行い、部員21人が参加しました。
当日は、網走農業改良普及センターの植松調整係長を講師に招き、「堆肥について」をテーマに講義を受けました。
植松係長から「堆肥とは何か」「作物や土壌改善への施用効果」など基礎からの学習に始まり、堆肥化にお

ける土壌成分の変化や、稲わら・牛ふんなど各種堆肥の一般特性について説明を受けました。
参加した部員は、熱心に説明に耳を傾け、土壌改善に向けたポイントをメモしていました。
質疑応答では、有効な施用時期や切り返しについてなど、多くの質問が飛び交い、有意義な講習会となりました。

グリーンアスパラ 共同選別開始

～5ヶ月間に渡り 11トンの出荷目指す～



▲規格ごとに仕分けされるグリーンアスパラ

J Aきたみらい相内地区事務所の野菜集出荷施設で4月22日から、グリーンアスパラの共同選別作業が始まりました。
きたみらい各地域から集荷されたアスパラは、従業員によって、大きさに2Lから2Sまでの7規格に選別して、150kgに束ねられます。
同地域では25年度のアスパラの作

付面積は、5・4ha、生産量は11トンを見込んでおり、ハウスでの促成栽培から始まり、露地栽培、立茎栽培の順に収穫され、4月から8月末までの5ヶ月間の長期に渡り出荷が続きます。
販売は地元市場やスーパーに出荷されており、また、同JAのネットショップ「おひさまマーケット」でも販売されています。



▼資料を手に説明に聞き入る生産者のみなさん



穂数により 追肥の判断を

～畑作講習会に 生産者など25人が参加～

上常呂地区では4月12日、地区内2ヶ所の会場で、小麦と甜菜の栽培講習会を開き、生産者など25人が参加しました。
小麦の講習会には、講師に網走農業改良普及センターの川岸普及員、山下普及員を招き、融雪以降の各生育期における窒素追肥の判断について説明を受けました。きたほなみは粒数増加による収量増加ではなく、1粒重を増加させることにより生産

量の増加と合わせて、製品部留まりを高めることが重要であり、各農家の圃場内の穂数により追肥の時期や量を判断するよう説明がありました。
甜菜の講習会では北糖の相馬主任氏が、土壌PHや排水対策の効果について説明し、また面積の増反を呼びかけていました。
参加した生産者は出来秋に期待し、熱心に説明に聞き入っていました。

▼硝酸態窒素の計測を行う部員のみなさん



圃場状態確認し 収量アップ目指す

～小麦技術研修会に 部員12人が参加～

青年部置戸支部農産部会（中川隆部会長）は4月17日、小麦圃場の硝酸態窒素の計測と圃場見学を行い、部員12人が参加しました。
同青年部では、今年の活動計画に小麦の栽培方法や管理などの研修を4回予定しており、今回が第1回目の研修会となります。
当日は置戸地区の小麦栽培講習会終了後、同地区事務所にて各部員の小麦圃場から採取した土壌サンプルを

持ち寄り、硝酸態窒素の計測を実施し、圃場の状態を確認しました。
計測終了後は、昨年、収量が多かった生産者の圃場を見学。各自の圃場と比較し、生育状況の違いを観察しました。
参加した部員のみなさんは「他の生産者の栽培方法を聞くことができ、とても参考になった」と話し、収量アップに期待を寄せていました。

次のステップへ 共に研究を

～農業情報研究会 総会に会員38人が参加～



▲議案の説明に耳を傾ける会員のみなさん

端野町農業情報研究会（樺山馨会長）は4月9日、地区事務所第19回通常総会を開き、会員38人が出席しました。
議長に樋口和義さんを選出し、24年度の事業と決算報告、25年度の活動方針案と予算案また規約の改定が審議された後、全議案が承認されました。
同会は平成6年に設立され、パソコン簿記研修会や経営分析また生産

費調査、農業経営や政策に向けた意見交換などの活動を展開しており、来年度で20周年を迎えます。記念式典や講演を計画している25年度の活動方針を樺山会長は「パソコン簿記研修会や生産費調査を大きな活動としながら、先端技術や省力化技術などを会員皆様と共に研究し有意義な活動をしていく」と決意を述べました。今後の更なる活動の充実が期待されます。

酪農の発展願い 活発に審議

～北見市酪農振興会 通常総会を開催～



▲総会資料に目を通す会員のみなさん

北見市酪農振興会（阿部高久会長）は4月18日、北見地区事務所で通常総会を行い、来賓及び会員20人が参加しました。
開会挨拶で阿部会長は「酪農家の減少や配合飼料価格の上昇など、酪農を取り巻く環境は厳しいが、今年度も努力を重ねるとともに、会員みなさんが健康で事故無く1年間を過ごしていただきたい」と述べました。

総会は昨年度の収支決算報告、今年度の事業計画案など4の議案を審議、また3月に実施された酪農婦人サークルの沖縄視察研修において、沖縄へ乳牛が販売されている事例や、府県の購買農家との交流も報告され、会員は興味深く聞いていました。
説明後は、質疑応答が活発に交わされた後、今年度の方針が承認され総会は閉会しました。



▼トラックに次々と廃品を積み込む部員のみなさん



植付け前の 大掃除行う

～廃品回収を行い 古新聞など6トﾝ収集～

女性部留辺蘂支部（飯田恵津子支部長）は4月10日、留辺蘂地区青果物センターで廃品回収を行い、フレスイ役員を含め9人が参加しました。
この廃品回収は、毎年4月と11月の2回行っており、同地区では恒例の行事となっています。
当日は、早朝から各自の家庭で仕分けされた、古新聞・空きビン・アルミ缶、ダンボールなど同センターに持ち寄り、全員息のあったチーム

ワークで、手際よく次々とトラックに積み込み、あっという間にトラック2台が満載となりました。今回は、特にダンボールの量が多く、1度に積みきれずに2回に分けて運ばれ、回収された重量は合計で6トﾝ程になりました。
参加した皆さんは、家の中もすっきりとし、清々しい気持ちで春の植え付け作業が迎えられるそうです。

▼手際よく移植作業を行う拓己さん



極早生玉葱 植付け始まる

～25年度の圃場作業 本格稼働に気合い十分～

徐々に気温も上がり、雪解けが進んだ4月下旬、訓子府地区で玉葱の移植作業が始まりました。
同地区・穂波の林純一さんは玉葱約12畝と甜菜を約1畝作付けし、4月25日の午後から、玉葱の移植作業を開始しました。
当日、移植したのは、極早生品種の「きたはやてつぎ」。その後は早生、中晩生、有機栽培などの移植作業が

続きます。
オペレーターをしていた後継者の拓己さんは、「天気予報が日々変化し、計画を立てるのが難しいけど、とにかく行けるところまで行きたい」と本格的に始まった圃場での作業に気合十分。移植機に苗を補充すると、一秒たりとも無駄にしないと機械に飛び乗り、走り去っていきました。

私のパートナー



今月号の「私のパートナー」は地域の活動で知り合い、かわいい長男に恵まれた、奥山貴敏さん、宏美さん夫婦を紹介します。

笑顔で明るく

置戸地区・秋田
奥山 貴敏さん(33歳)
 とし
宏美さん(25歳)

- Q ご結婚されたのはいつですか？**
平成23年2月です。
- Q 知り合ったきっかけは？**
町内の合唱の交流会で知り合いました。
- Q 初めて会ったときの印象は？**
貴敏さん…物静かな人だなあ。
宏美さん…背が小さくて声が高いなあ。
- Q 結婚を決意した大きなポイントは？**
貴敏さん…料理が上手なところが一番のポイント。
宏美さん…秘密。
- Q 宏美さんの出身地と前職は？**
出身は陸別町で、置戸町の老人ホームで介護士をしていました。
- Q お子さんは何人くらい？**
男の子が一人いるので、あと女の子が1人欲しいです。
- Q どんな家庭を築きたいですか？**
笑顔の絶えない明るい家庭。
- Q 今後の目標、夢は？**
家族でディズニーランドに行くことと、二人で酪農経営をしていくことです。
- 貴敏さんの膝に座っているのは知秋(ちあき)くん(1歳7ヶ月)です。



【写真説明】
干し草を満載した昔懐かしい3輪車をバックにお母さん(左)と実習生(右)の真中でポーズを取っているのが繁敏さん。

訓子府地区・西富
渡辺 繁敏さん(62歳)



思い出の写真

乾草の収穫作業

この写真は、今から50年程前、繁敏さんが中学生の頃の乾草収穫時を写したものです。昔は、刈り取った牧草を乾燥させ、そのまま三輪自動車の荷台に山積みし、牛舎へ運搬していました。牧草の収穫作業はこの後、機械化が進みコンパクトベラー(牧草を長方形に梱包)から、現在ではロールベラーになり、ほとんどの行程が機械化され、力仕事なくなり、とても楽になりました。繁敏さんは「男兄弟はいなかったため、自分が後を継ぐものだと思っていたし、機械が好きだったから、学校で勉強するより仕事を手伝っている方が楽しかった」と、当時の思いを語ってくれました。また、乳牛の改良にも熱心で、小さい頃からよく父親と一緒に共進会に参加し、就農してからは毎年欠かさず参加。全国共進会にも2回出場しました。繁敏さんは「全国の酪農家と知り合うことができ、楽しかったが、長い間家を空けたり、準備など負担も大きいので一昨年で引退したよ。今の趣味はお酒を飲むことくらいかな」と笑って話してくれました。

マイテイスト 釣り

My Taste 水留さんの趣味は50年以上前から始めた「釣り」です。若い頃に地元の青年団でキャンプに行ったときに初めて船釣りを体験し、それ以来、忙しい農作業の合間を見ては釣りに出かけていました。最近では年に3回ほどしか行きませんが、経営移譲した息子や地域の仲間と一緒に釣りに行くのを楽しみにしています。対象魚はカレイやホッケなどいろいろありますが、水留さんは、特に「鮭釣り」が好きで、調子の良いときには1日で30本以上の鮭を釣り上げたこともあるそうです。また、写真にあるのが一昨年に釣り上げた「鮭児」で、浜で1万匹に1~2匹しか上がらない希少な白鮭。通常2kg程度しかありませんが、この時釣り上げたのは体長70cm、重さ約3kgで鮭児としてはまれな大物。「家族みんなで食べたが、普通の鮭とは違い脂も乗っていたが、瓜みみたいな香りがして本当においしかった」と話してくれました。雪も解け、温かくなってきたので、水留さんは「そろそろカレイでも釣りに行きたいね」と話してくれました。



上常呂地区・広郷
水留 守夫さん(77歳)



▲一昨年釣り上げた丸々と太った鮭児の写真

ほのぼのの広場



きたみらいの
ホー普さん

「一人前」を目指して

北見地区・上仁頃
斉藤 翔平さん(24歳)

翔平さんは小麦・甜菜・玉葱などを栽培する斉藤和雄さん・はるみさん夫妻の長男で、平成23年4月に就農しました。

- 趣味は？**
旅行に行くことや、テレビでサッカー観戦することです。
- 好きな食べ物・嫌いな食べ物は？**
焼肉・チョコレートが好きで、魚料理が苦手です。
- 理想の女性とは？**
料理が上手な人。
- 結婚はいつ頃までに？**
30歳くらいまでには出来たらと思っています。
- 農業に対する抱負は？**
就農して2年が経過する中で、農業の難しさも感じる日々です。今後も積極的に仕事を覚え、早く「一人前」になりたいです。

6月号の「ホー普さん」は、JAきたみらい青年部？支部の？さんを予定しています。広報編集委員が、突然、取材にお伺いすると思いますが、何卒、ご協力願います。

まちがいさがし

Bのイラストには、Aのイラストと違う部分が5カ所あります。間違っている部分を右下のイラストの中の数字でお答え下さい。

A



B



4月号クイズの当選者

4月号のまちがいさがしの答えは「2. 3. 5. 9. 12」でした。正解者49名の中から抽選の結果、当選者は次の方々です。尚、抽選はJAきたみらいの西川組合長にお願いしました。

()内は地区名

- ・稲田奈々美さん(温根湯) ・山本 純子さん(上常呂)
- ・斉藤さおりさん(置戸) ・小野 竜翠さん(北見)
- ・林 鉄治さん(訓子府) ・宮島 和子さん(北見)
- ・井関 啓太さん(訓子府) ・中島 虹さん(端野)
- ・竹田 澄子さん(相内) ・貝沼 輝美さん(端野)

以上の方々には、相内の菓子店「圓泉堂」の「熊のまくら」をプレゼントします。



応募方法

答えが解った人は、別紙の応募用紙に答え(番号)と広報誌へのご意見・ご感想を記入してFAXでご応募下さい。抽選で10名の方に、このほど新発売されたJAきたみらいの冷凍食品「北海道レンジでシチュー(3食入)」5袋プレゼントします。

大きくなったら



端野地区・二区
小川 璃聖くん(6歳)
久くん(9か月)

サッカー選手になりたい!

稜真(りょうま)くん 6歳(右)
最近自転車に乗れるようになりました。走ったり、スポーツをしたり体を動かすことが大好きなのでサッカー選手になりたいです。

キョウリウジャーに

日曜の朝は、お兄ちゃんと獣電戦隊キョウリュウジャーを見るのがなにより楽しみ。

小川和久さん、貞代さん夫婦のお子さんです。おじいちゃんとトラクターに乗るのが楽しみな稜真くん。幼稚園にお迎えに行っても帰りたくないという程幼稚園が大好きな聖くん。目をクリクリさせている璃久くんの元気な3兄弟です。

ほのぼのの広場



相内地区・豊田
高橋 紅安(くれあ)ちゃん(3歳6ヶ月)

わが家のアイドル

幼稚園大好き

紅安ちゃんは、3人兄妹の次女で、今年4月から、お姉ちゃんと一緒に幼稚園に通っています。

毎朝のお迎えのバスに「お友達がたくさんいて、幼稚園で楽しく遊ぶのが一番の楽しみなの」と話してくれました。

好きな食べ物は、いちご・ぶどうと、お母さんが作った料理が大好きです。家では、お姉ちゃんとおままごと遊びをして楽しく遊んでいますが、喧嘩もしてしまうとか。

農繁期には、畑に出て大好きなトラクターに乗ったり、働くお母さんの側で遊ぶのが好きで、お母さんは「なかなか家に帰らたがらないのでごまかっています」と話し、また「誰からも好かれる、優しい子に育ってほしいですらね」と、笑顔で話してくれました。

紅安ちゃんは、高橋秀幸さん・知江美さん夫妻のお子さんです。

畑 の雪もとけ、春のにおいがしてきましたね。いよいよ始まりますが、今年も大雨などではなく豊作でありますように。

(置戸地区・斉藤さおりさん)

実際、焦げたにおいのような、春の香りがしますよね。5月号が届く頃には、皆さん、植え付けの真っ盛りで大忙しのことでしょう。豊作に向けた始まりです、皆さん頑張ってください。

ま た忙しい日々が始まります。事故のないように頑張りましょう。

(訓子府地区・須河 颯介さん)

生産者皆さんへの応援メッセージ、ありがとうございます。組合員の皆さん!!春の植え付け作業が無事故で順調に進みますよう、頑張ってください。

い つになったら雪がとけるかな~と思ったのに、やはり4月10日になったらなくなるね~。ハウスの中に花や野菜の芽が出て、人間も冬眠から覚めたい。今年も元気で働こう~。

(相内地区・高橋 正保さん)

やる気満々といったところですね。私は「春眠暁を覚えず」といったところで朝の目覚めがジャンとしません。誰か私に「猪木」ばりの気合いを!!

毎 回楽しみにしています。写真も多く各地区の情報がわかる東西南北は、他女性部の活動も取材されていて良いです。ほのぼのの広場も見ていて笑顔になりますね。とても癒されます。

(端野地区・貝沼 輝美さん)

愛読いただきありがとうございます。次回号より「ほのぼのの広場」を少しリニューアル致します。ご意見や感想などもお待ちしております。

おらがまちの



これからも健康で おしどり夫婦



北見地区・川東

上野 巖(いわお)さん(77歳)
智子(ともこ)さん(75歳)

しるういたし仲とい画た校のしに進し飼業出作昭医
て余巖`めみ間一まグ経で寿たか学いいを来と和を巖
く生さ酒にのと緒すル験の大`牛は先に手ず牛28日
れをんも適一親に。1を部学経飼さ輩魅伝進舎`指ん
ま過は少度つ睦老現ブ活に営いてと力つ学の29し
しごうしにでを人在にか動通移におのをてを新年で高
たし今減農、図クは入してで譲専き出感い先築のい校
た後ら作健るう、りて美、後念、会じる延て連ま
いもし業康こブ喧楽、術中はしいい、うば金続し業
と義を維とに嘩し再部学北てつもすちし線のた後、
と義と手持が入相んびだ、見いのあばに、り大が、
話あい伝の楽り手で絵つ高市ま間り、牛家が凶、獣

歌一野に上おをにが前、をらた始智、でん23農で、
つ緒菜気げ茶作庭きか智振搾とめ子牛51と歳業、智子さん
こにををまをり先れら子り乳話たさの年出の時学さん
と入作つすし、のい始さ返し頃ん世目会時学さん
がっるけ。な冬花にめんつて、はは話につに伝校ん
楽た傍な現ガにを咲たのてい試牛、はなておつ卒は
し老らが在らな摘き、押趣いた行が酪初り結見て業訓
み人、ら壁るん始し味ま当錯恐農めま婚合い後子
でク巖八健掛とでめ花、はし時誤ろをす。しいいまは府
すうさウ康け仲押る。たのしし手だ、でし実町
プんス管に間し夏。6。様なか伝つ、今巖た家出
でとで理仕と花頃花年、子がついた、年さの身

INFORMATION



▲今総代会代より15名の女性の総代が参加



▲議長を務めた安藤義彦氏(左・端野)と清井敏行氏(右・訓子府)



▲275人の総代が出席して開かれた第10回通常総代会



▲TPP交渉参加反対決議案を朗唱する荒青年部長

報告案件2件から24年度決算報告、25年事業計画では玉葱加工施設の増設計画や農産物取扱計画、役員退任に対する慰労金など全8件の議案が審議され、原案通り可決されました。また、TPP交渉参加断固反対並びに北海道農業確立に関する決議案を、JAきたみらい青年部の荒部長が朗唱、満場一致で採択されました。閉会前には、当JAを始め北海道厚生連・共済連北海道本部の理事として邁進し、今回で勇退される加藤会長へ感謝の意を込め、JAきたみらい女性部の齊藤会長より花束が贈られ、会場からもその功績に対し多くの拍手が送られました。最後に坂下専務の閉会挨拶の後、午後3時13分に閉会を宣言し、すべの日程が終了しました。

第10回通常総代会
「集えひとつに！」
夢への挑戦と実現のために

総代からの質問と意見

提案された議案について4名の総代より質問や意見が出されました。おもな内容は次の通りですが、それぞれの質問や意見に対しては理事や監事より答弁されています。

議案第1号について

- ・ 定例理事会における協議内容の確認
- ・ 平成23年産玉葱の加工対策の精算の確認
- ・ 免税軽油の共同申請の手続き
- ・ 農民組織への助成措置の継続
- ・ 金融基盤強化準備金の積立額とその基準

議案第2号～第4号について

- ・ 参事制の廃止と常勤5名体制とした考え方
- ・ 資材店舗の訓子府地区駒里へのセンター化・移転
- ・ TPPに備えたJA事業計画や組合員の投資リスクの周知
- ・ 玉葱取扱要領における輸入抑制対策の配分方法

議案第8号について

- ・ 理事に対する慰労金の扱い



▲議案に挙手をもって賛成する総代のみなさん



▲今回で勇退された加藤会長

総代会は定刻の10時より、大坪常務の開会宣言の後、出席した総代・役員員・来賓全員でJA綱領を朗唱し始めました。開会に先立ち西川組合長から「合併後10年が経過し、新たな10年に向けた取り組みを始めた。本年は10周年を記念する各種事業も計画されており、組合員の積極的な参加を期待しています」と述べ、さらに「24年度において、組合員各位の積極的な農協事業参加と、センター方式による事業の選択・集中により、順調な事業遂行ができたことから、5億7100万円の剰余金を計上することができました」とお礼の言葉を述べました。

また、「農業情勢の大きな変革の時期ではあるが、全ては組合員のため」の理念のもと、現場を原点とした事業運営に傾注していきたい」と、強い姿勢を示しました。引き続き、来賓を代表して井上置戸町長、JA北海道中央会の高橋北見支所長より祝辞をいただき、2名の議長(端野地区の安藤義彦さん、訓子府地区・清井敏行さん)を選任し、議案の審議に入りました。



▲開会の挨拶を述べる西川組合長

事業報告・計画など
全8議案を審議

きたみらい農業協同組合の第10回通常総代会が4月11日、北見市内のホテルで総代376人(本人出席275人、代理出席12人、書面89人)出席し、全議案が原案通り決定致しました。

INFORMATION

すべては 組合員のために 常務理事



佐藤 浩

この度の第10回通常総代会で選任され、翌日、4月12日の臨時理事会において信用担当常務を仰せつかりました。身に余る職責ではありますが、与えられた任に対し、今まで職員として培ってきた経験を生かし、農家経済の発展のために農協事業運営に携わって行く所存であります。

今日、TPPを始めとし日本は世界に向けて、その門戸を更に大きく開放する方向に動こうとしています。世界を相手とした競争のなかで、どれだけ国益にかなうのか疑問でなりません。

私たちは農業を通して国と国民を守る宿命を帯びています。今こそ全員が一丸となって、国民へ農業の理解を深める運動を展開していくことが大事であり、その砦として農協はあるものと認識致します。皆様とともにこの難局に立ち向かっていく所存であります。

農業の基本は、まずもって安定生産にあると考えます。質を伴った収量の確保ができて、経営の維持・発展につながり、地域や国への貢献ができるものと思います。生産性の向上、生活面の向上に、信用共済部門の側面から経営を支えて参りますが、時代背景と将来を見据え、組合員の皆様とともに考え、そしてともに歩んで参ります。

事業運営では組合長、専務を支え常務3名スクラムを組んで『すべては組合員のために、選ばれる農協』作りに、与えられた期間、努力邁進して参ります。参事時代と同様、変わらぬご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

信頼され 選ばれる産地に 常務理事



大坪 広 則

この度、第10回の総代会において理事として再任され、臨時理事会にて再度、常務理事として就任することとなり、改めて責務の重さを痛感しているところであります。今までの3年間、組合員皆様のご理解とご協力のもと務めさせていただいたことに、心より感謝申し上げますとともに、新たな気持ちでこの重責を担って参る所存ですので、これまで以上のご理解とご協力をお願い申し上げます。

昨年の12月、政権交代がなされグローバルの波が我々地域農業にも押し寄せようとしている昨今、食料を生産する者として「食の安心・安全」を基本とし、今まで以上に消費者の理解を求めてくことが、大変重要になると考えます。組合員みなさまが育てた農産物を少しでも多く出荷いただけるような事業を展開することが「信頼され選ばれる産地」に繋がるものと確信しているところであります。

きたみらいも10年が過ぎ11年目を歩んでいるところでありますが、10年の足跡をしっかりと刻み、これからの将来を見つめる意味でも、周年事業を計画させて頂きました。多くの組合員の参加をご期待申し上げ、合わせて今年は、農業振興方策と第4次の中長期経営計画の策定年でもあり、皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

「魅力あるJA・選ばれるJA・貢献できるJA」を目指し常勤役員の1人として、西川組合長を先頭に「組合員のため、組合員による、組合員と共に」を基本に農協事業運営に取り組んでいく所存でございますので、今後とも皆様のご指導よろしくお願い致します。

組合員皆様のご健勝と、実り多い出来秋を迎え、共に喜び合えることをご祈念申し上げ就任のご挨拶と致します。

夢と希望が 持てる環境作りに 代表理事 専務



坂下 一 夫

本組合の第10回通常総代会が4月11日に開催され、任期満了に伴う役員選任において組合員みなさまのご理解のもと、新しい理事20名、並びに監事6名が選任されました。また、翌日の臨時理事会において、これから3年間の新執行体制を協議し、私事、再度常勤理事に再任され就任致しました。改めてその責務の重さを痛感しているところであります。

今、きたみらい農協は、これまでの10年を総括し、これからの10年に向かっての歩みを始めました。それには「組合員のため、組合員による、組合員と共に」という、きたみらいの原点を忘れず、子や孫に引き継ぐ「きたみらい農協の礎」を今しっかりと作るため誠心誠意努力する所存であります。

農業、農協を取り巻く環境は、依然として厳しさを増しております。意欲ある全ての農業者が将来にわたって夢と希望を持って、経営発展に取り組むことができる環境作りに向けて全力で取り組んで参ります。

もはや、地域コミュニティを守るのは農業を置いて他にないと思います。食べ物とは生きることそのものであり、農業において持続可能な社会の建設はあり得ません。農業者自らが誇りを持ち、安全・安心な食糧を安定供給するため結集し、力を合わせ消費者の期待と信頼に添えてゆきたいものです。

今後とも皆様のご指導、ご支援をお願い申し上げますとともに、今年も組合員皆様方がご健勝で、豊穡の出来秋を迎えられますようご祈念申し上げます、就任の挨拶と致します。

持続可能な 地域農業の発展のため 代表理事 組合長



西川 孝 範

この度、第10回通常総代会において改めて理事として選任され、臨時理事会にて代表理事組合長の指名を賜り、就任することとなりました。

平成20年6月より代表理事組合長として組合運営の重責を担い、その責務の重さに改めて身の引き締まる思いであります。

現在、農業・農協を取り巻く情勢は、TPP交渉へ参加表明など、今この国のかたちを一変させうる大変重要な時期を迎えております。当組合としても、今後においてTPP交渉断固阻止に向け、国などへの要請活動をさらに強化して参ります。

また、組合員戸数の減少に伴い、役員定数を削減し、迅速な決断をすることにより、現場での対応がスムーズに行えるようにと、常勤体制の変更を行いました。

平成15年大同合併から10年が経過し、これまでは融合して一つにとけあう10年として取り組んで参りました。これからの10年においては、協同組合として、基本的な活動であります経済事業の伸長と、継続的な学習活動に傾注していく所存であります。

特に、次世代のために、JA経営の根幹となる組合員組織が、新しい連携を構築することが重要であることから、将来を見据え、役職員の教育に併せ、担い手に対し協同組合運動の再認識を通じて、組合員、組合員家族、役職員が課題を共有し、その課題解決に向けた共通認識を固めるため、多様な角度から議論を重ねることで、持続可能な地域農業の発展のための礎を再構築していきたいと考えております。

結びになりますが、今後の地域農業の発展と農家経済向上のため専心努力いたす所存でございますので、何卒倍旧変わらぬご指導ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます、就任の御挨拶にかえさせていただきます。

就任のご挨拶

INFORMATION

退任のご挨拶



**若者や女性が
笑顔で働ける地域農業**
前・会長理事

加藤 孝幸

この度、任期満了により会長理事を退任致しました。平成15年2月、JAきたみらい誕生と共に常勤として5年、その後、会長として5年（この間3年は厚生連、共済連役員）、組合員みなさまの深いご理解とご支援、更に役職員を始め地域皆様のご協力に支えられて、任務を終えることができました。改めて厚く感謝とお礼を申し上げたいと思います。

北海道厚生連はご承知の通り、地域医療の現場であり、医療を通して健康で安心して暮らせる地域社会と、農村環境作りに取り組んでおります。少子高齢化が進むなかで地域を疲弊させない、それは行政等との連携を含めた地域医療の充実が最も重要であります。特に医師不足は過疎地域ほど深刻であり、医師確保が地域再生の要めとなった事例もありました。3年間、行政を始め地域の方々のご意見をいただきながら取り組んで参りましたが、一日も早く、安心出来る地域医療制度の充実を望んでいるところであります。

一方、農家・農協を巡る環境は厳しい状況下にありますが、重要案件こそ組合員を始めとしJA、地域が一体となった取り組みが重要であり、若者や女性が笑顔で意欲を持って働ける、地域農業作りを目指していただきたいと思います。そこには必ず事業の活性化が生まれると信じますし、人間性の豊かさに繋がると確信を致しております。

皆様の更なるご活躍を期待させて頂きながら、結びにあたり組合員、役職員各位のご健勝をお祈り致しますと共に、本年が豊穡の出来秋となりますよう、ご祈念申し上げ退任の挨拶とさせていただきます。大変お世話になり、誠にありがとうございました。

**目的に向い
誠心誠意**
常勤監事



菅崎 秀弘

この度、第10回通常総代会において監事の選任をいただき、続く監事会において常勤監事に互選され就任いたしました。地域農業やJAにとって、かつてない環境が取り巻いているなか、ますます職務の重要性を深く認識し、改めて責務の重さを痛感しているところであります。もとより浅学寡聞(せんがくかぶん)の身ではありますが、より一層の研鑽に努め組合員皆様の負託に応え得るよう、職務遂行に全力を傾注いたす所存でございます。

さて、本組合も設立から10余年経過いたしました。黎明(れいめい)・揺籃(ようらん)期も既に経過し、成長躍進期・成熟期へと羽ばたく、向こう10年が既に始まっております。これに伴い、協同組合組織としての本組合の社会的存在価値とその意義は従来にも増して、より一層強くなってきているのではないかと考えています。私の記憶に残る言葉の一つに「学後知不足(学びて後足らざるを知る)」というのがあります。自分の課題を知り、自分だけではできないことも、謙虚に他の人と協力して物事を取り進めて行こうという意味合いでもあると捉えています。このことは、協同活動の実践にも相通じる点があるのではないかと思います。新しい役員体制のもと、林代表監事をはじめとする各監事・役職員と同一認識にたち、職務に専念する所存であります。そして、協同組合運動を支える組合の健全な発展に少しでも貢献でき得るよう力を合わせ、初期の目的に向かって誠心誠意努力して参りたいと考えております。

組合員の皆様はもとより、役職員の皆様の倍旧のご指導、ご支援を何卒宜しくお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。

**果たす役割と
持てる創造力の発揮**
代表監事



林 政則

合併10年目の節目にあたる通常総会において、役員定数の見直しにより大幅な理事の削減がなされたなか、監事におきましては、事業量のボリュームと広範囲の地域、内部統制強化の観点から今まで通りの定数となりました。そのようななか、代表監事に選任され就任致しましたが、その職務の重大さに身の引き締まる思いでいっぱいです。

また、任期満了により退任されました福田前代表監事・加藤前監事・石井前監事の3名の先輩諸氏におかれましては、過分なご教示をいただき感謝申し上げますところでございます。

さて、昨今の農業情勢は、先行き不安な状況であります。グローバル化の名のもとに環太平洋連携協定(TPP)の交渉が行われようとしております。TPP交渉で「守るべきものは必ず守る」としても、農地や後継者の農業所得が確保されなければ、農業は衰退してしまうところか崩壊しかねません。これからどうやって付加価値を付け、その可能性を探りながら、生産から加工・流通まで融合させる6次産業化を、組織としてどう取り込むことができるか、果たす役割と持てる創造力を遺憾なく発揮し、「集えひとつに～夢への挑戦と実現のために」でき得る下支えをする所存です。

私たち監事会も3名の新任監事諸氏と共に、JAきたみらい地域の農業を振興し、相互扶助の精神で意思疎通を図りながら、常に公正不偏の立場で監査業務を行うことにより、農協事業の運営と発展に貢献していきたいと思っておりますので、宜しくお願い申し上げます。

結びに組合員皆様方のご指導、ご協力を心からお願い申し上げますと共に、秋にはお互いに笑顔で豊穡の出来秋を迎えられますよう、ご祈念申し上げ就任のご挨拶と致します。

就任のご挨拶



**夢への挑戦と
実現のために**
常務理事

高橋 優

この度、第10回の通常総代会において常務理事として選任いただき、理事会にて販売・購買担当常務に就任致しました。

今まで、職員として組合員の皆様にご指導賜りましたことに深く感謝致しますとともに、これからは常勤役員の一員として、任期期間中は一意専心で、組合員皆様の負託に応えるべく、努力していく所存でありますので、よろしくお願い致します。

さて、政府は日本農業の向かうべき方向を大きく変えようとしています。また地域農業においても、降雷を始めとした異常気象に見舞われ、農業経営に直接的影響を及ぼしかねない、様々な環境に直面しているのが実態であります。

こうした地域農業が置かれている外的・内的環境の両面をしっかりと見つめ、地域農業が持続的発展することを目標として全力で努力して参ります。

また、本年は第3次地域農業振興方策・中期経営計画の目標年であります。目標達成に向け、また新たな10年に向けたスタートの年として、進むべき道を定め、今こそ組合員の皆様の結集力を本地域農業の強みとして最大限発揮できるよう、役職員一体となった事業遂行に向け邁進して参りますので、今後とも組合員皆様のご指導とご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

本年が組合員とご家族皆様方のご多幸と、実り多き出来秋となりますことをご祈念申し上げ、就任の挨拶と致します。

INFORMATION

新体制がスタート 3年間、一致団結し勇往邁進

4月11日の第10回通常総代会において、新しい役員が選任されたことに伴い、翌日の臨時理事会および監事会において向こう3年間の新執行体制が決定されましたのでお知らせします。
(●は地区運営委員長)

理事

 常務理事 高橋 優 (新) (学経)	 常務理事 佐藤 浩 (新) (学経)	 常務理事 大坪 広 則 (訓子府)	 代表理事専務 坂下 一 夫 (留辺蘂)	 代表理事組合長 西川 孝 範 (端野)
 理事 ●須河 徹 (訓子府)	 理事 ●川岸 一 三 (留辺蘂(相内))	 理事 ●齊藤 和 雄 (北見)	 理事(営農委員長) ●奥山 忠 明 (置戸)	 理事(総務委員長) 宮本 昭 (北見)
 理事 米 森 久 雄 (北見)	 理事 ●萩原 和 裕 (新) (相内)	 理事 ●牧野 篤 嗣 (新) (温根湯)	 理事 ●吉田 正 実 (上常呂)	 理事 ●今村 幸 雄 (端野)
 理事 寺崎 博 (新) (端野)	 理事 河野 栄 (新) (上常呂)	 理事 有馬 和 幸 (置戸)	 理事 藤森 光 秋 (訓子府)	 理事 中村 一 博 (訓子府)

監事

 監事 和田 恭 明 (北見)	 常勤監事 菅崎 秀 弘 (学経)	 代表監事 林 政 則 (相内)
 監事 南 博 敏 (新) (訓子府)	 監事 山内 幹 司 (新) (端野)	 監事 柏原 勝 (新) (置戸)



公正不偏の 立場から鋭意努力



前・代表監事
福田 節 幸

この度の役員改選に伴い、代表監事を退任致しました。平成15年2月の「きたみらい農協」誕生とともに監事として就任し、10年のうち後半の2期6年を代表監事として務めさせていただき、この間、組合員皆様、役職員の皆様方の多大なご支援とご厚情を賜りましたことに、心から感謝とお礼申し上げます。

旧訓子府町農協業協同組合での6年と合わせ、16年間にわたり協同組合運動に関わり、地域農業振興に、組合員の農業経営の安定と、生活の向上を支援する農業協同組合の精神、目的とその達成のために、理事者との意思疎通を図りながらも、独立し公正不偏の立場から監査業務を通じ、農協事業運営発展のために鋭意努力させていただきました。それも菅崎常勤監事を始め、各監事諸兄や監査室職員の力添えの賜物と敬意を表するものであります。

平成15年、8農協が合併し、特色ある8つの農協組織がようやく10年経過して「融合し・溶け合っ」力強く歩み出してきたと認識致しております。これまでの10年で300戸の仲間を失いましたが、これからの10年、TPP協定の方向によっては、農業及び農協を取り巻く環境は、かつてない厳しいものになると思われませんが、新役員体制のもと、農業協同組合の原点に立ち返り、組合員の期待と信頼に応え、この厳しい時代を乗り切っていただけるものと確信いたします。

最後に、きたみらい農協の益々の発展と組合員の皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げ、退任の挨拶とさせていただきます。10年間の永きにわたり大変お世話になり、ありがとうございました。

環境変化に 対応し得る組織発展を確信



前・常務理事
山本 寛 身

この度の役員改選にあたり、任期満了により常務理事を退任致しました。平成22年4月の就任以来、3年にわたり務めさせて頂き、この間、組合員皆様を始め、役職員の皆様まよりご厚情を賜りましたことに、衷心より感謝申し上げます。

顧みますと、昭和45年に旧訓子府町農協に奉職し、平成15年の合併と合わせ、職員として40年、役員として3年、合わせて43年間にわたり、協同組合運動に関わり農協業務運営、地域農業の振興に微力ながら精一杯務めさせていただきました。

厳しい農業情勢の中、平成15年の合併時は多くの不安を抱えてスタートしましたが、早いもので、本年で10年を経過しました。この間、自然災害や農業資材の暴騰など、決して順風ではありませんでしたが、組合員の皆様や役職員の努力により、個々の農業経営及び、農協運営も順調に推移して参りました。

このようななかで、非力ではありますが信用担当理事として、財務の安定化や指導金融の機能強化に取り組んで参りましたが、十分な役割を果たせなかったのでは、との思いもあります。

今後とも農業・農協を取り巻く環境はTPP問題をはじめとして、厳しいものと思われま。しかしながらきたみらい農協は新役員体制のもと、協同組合の原点を忘れない「組合員の皆様の期待と信頼に応えられる組織」「時代の変化、環境の変化に対応し得る組織」へと一層の発展がなされるものと確信しております。

最後に、きたみらい農協の益々の飛躍と、組合員及び役職員皆様のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、退任の挨拶とさせていただきます。大変お世話になり、ありがとうございました。

退任のご挨拶

INFORMATION

第3回 理事会報告

4月20日、午前9時00分より第3回定例理事会が開催され、報告事項10件、議決事項11件が協議され、原案通り承認されました。

【報告事項】

- ①組合員状況報告について
- ②財務状況報告について
- ③人事の発令について
- ④組合員意向調査の集計結果について
- ⑤合併10周年記念事業について
- ⑥生乳生産状況及び個体取引価格について
- ⑦平成24年度産共計玉ねぎ・馬鈴しょの選果販売状況について
- ⑧購買部門の連休対応について
- ⑨組織機構の変更について
- ⑩訴訟案件について

【議決事項】

- ①出資増減口及び持分譲渡について
- ②固定資産の取得及び処分について
- ③諸規程の改正等について
- ④役員退職慰労引当金の取崩し及び役員退職慰労金の支給について
- ⑤北見市農業委員の推薦について
- ⑥理事報酬の配分について
- ⑦理事の順位について
- ⑧行政庁に提出する業務報告書について
- ⑨当組合との利益相反取引に係る取扱について
- ⑩平成25年度産青果物取引要領（野菜）について
- ⑪平成25年度生乳増産対策事業実施要領の見直しについて

訂正とお詫び

先月号(123号)の「おひさまサラダ」で、次の通り誤りがありましたので、訂正のうえ深くお詫び申し上げます。

■訂正箇所■

○13ページのVOICE・読者の声の記事で 遠藤幸恵さんを一遠藤幸枝さんに訂正

JAきたみらいは4月25日、JA北海道信連が主催する「北海道信用事業優績JA表彰」において、成績優秀として表彰を受け賞状及び記念品が贈られました。

この事業はJA北海道信連が主催し、毎年、信用事業の重点推進5項目(貯金・ローン・年金振込・JACカード)を対象に、その増加額や増加率及び獲得件数の増加に対して基準を設け、優秀な成果を収めたJAに24年度は全道56JAを対象に審査

優績JAとして表彰される

ローン部門で受賞

され、総合表彰で11JA、重点推進項目で10JAに対して表彰。同JAは「ローン部門」で成績優秀と認められ受賞を受けました。

今回の受賞に西川組合長は「利用者の負担に配慮、JA経営の安定化のためにも、今後も信頼されるJAとして努力していきたい」と述べていました。



▲JA北海道信連北見支所の武田支所長(左)から受賞を受ける西川組合長

不動のトップ 安 孝志さん 10年連続で最優秀

きたみらい酪農振興協議会 乳質改善表彰

きたみらい酪農振興協議会(伊藤 稔会長)は4月22日、JAきたみらい訓子府地区事務所第10回通常総代会を行いました。

総代会に先立ち、平成15年以降、同協議会が主催する乳質改善表彰が行われ、置戸常盤の安孝志さんが10年連続して、最優秀賞を受賞しました。

最も低い2万1千個と、その群を抜く乳質は、同JA内では一度もその座を譲ることない、不動のトップを堅持しています。

10年連続受賞に安さんは「自分に厳しく、牛に優しく、そして飲む人のために、今後も努力していきます」と意気込みを話してくれました。

乳質表彰者の成績

【最優秀賞】 (単位:万/ml)

地区	氏名	体細胞数	生菌数
置戸	安 孝志	2.1	0.1

【優秀賞】

地区	氏名	体細胞数	生菌数
留辺蘂	今野 春雄	3.4	0.1
置戸	竹内 進	4.6	0.1
置戸	小嶋 春夫	5.8	0.1
置戸	松田 契一	6.4	0.1
温得湯	島山 政博	7.2	0.1
北見	(有)上野牧場	7.2	0.1
置戸	坂本 了一	7.6	0.1
訓子府	堀口 一博	7.9	0.1
置戸	中井 應義	8.5	0.1
北見	(有)阿部デーリィファーム	8.6	0.1

【優良賞】

地区	氏名	体細胞数	生菌数
端野	木暮 靖志	8.9	0.1
端野	斎藤 義行	9.1	0.1
置戸	奥山 広美	9.7	0.1
置戸	樋渡 秀晃	9.9	0.1

【努力賞】

地区	氏名	体細胞数	生菌数
相内	高松 正忠	14.2(26.3)	0.1(0.1)



▲伊藤会長(左)より、10年連続の表彰を受ける奥さんの安まりこさん

新発売

このほど、JAきたみらいの加工食品に、新たに2品が加わることとなりましたので、ご紹介致します。

販売は北見駅前のまちきた大通ビル「パラボ」や同JA管内のAコープ店、東武端野店、北広島市のホクレン農業体験施設「くるるの杜(もり)」などで取り扱いされる予定です。ご家庭はもちろん、お土産、贈答などは是非ご賞味下さい。

【芳醇 玉葱醤油】 4月26日発売



JAきたみらい産玉葱を使用し、炒めることで風味とうま味を増した「玉葱醤油」は、炒め玉葱のうま味と風味が口の中で広がります。いつもの料理に「玉葱醤油」を使ってグレードアップしてみても、いかがでしょうか。

180ml 希望小売価格 650円

【北海道レンジでシチュー】 5月13日発売予定



じゃがいも「スノーマーチ」をメインに、玉葱などJAきたみらい地域特産原料及び北海道産原料にこだわった「シチュー」です。濃厚な味わいは、ご飯のおかずにも最適です。3食小分けになっており、保型力が高いため、お弁当の一品としても簡単においしくいただけます。

195g(65g×3食入り) 希望小売価格 298円



【材料：2人前】
 アスパラガス……………2本
 スナップエンドウ……………4本
 キャベツ……………1/2枚
 タマネギ……………1/4個
 パプリカ(赤・黄)……………各1/8個
 ニンニク……………1片
 オリーブオイル……………大さじ2
 スパゲティ……………200g
 塩・こしょう……………少々

春野菜のパスタ

【エネルギー530kcal(1人分)】

【作り方】

- ①アスパラガスは1/4程度に切り、スナップエンドウは筋を取り半分になり、他の野菜は食べやすい大きさに切っておく。
- ②フライパンにオリーブオイル、ニンニクのスライスを加えてから中火にかける(並行して、水1Lにつき大さじ1の塩を入れて、スパゲティをゆでておく)。
- ③香りが出てきて軽くきつね色になってきたらニンニクはいったん取り出し、タマネギと塩少々を入れて焦がさないように炒める。
- ④タマネギが半透明になったら、いったん火を止め、オリーブオイルが熱いうちにスパゲティのゆで汁を大さじ2杯入れてよく混ぜながら、オリーブオイルと合わせて乳化させておく。
- ⑤スパゲティがゆで上がる3分前にアスパラガス、スナップエンドウ、キャベツ、パプリカを鍋に入れて一緒にゆでる。
- ⑥ゆで上がったスパゲティと野菜を(4)と絡め、塩、こしょうで味を調える。

メモ

旬の野菜をたっぷり入れたオイルベースのパスタです。おいしく作るコツはオリーブオイルとスパゲティのゆで汁をよく混ぜて乳化させておくことです。スパゲティだけでなくペンネなどのショートパスタでもおいしくできます。

おひさまサラダ COOKING

♥おいしいもの大好き!♥



【材料：2人前】
 クレソン……………150g
 ジャガイモ……………300g
 タマネギ……………150g
 バター……………20g
 生クリーム……………大さじ1
 水……………400cc
 塩……………小さじ1

クレソンのポタージュ

【エネルギー129kcal(1人分)】

【作り方】

- ①ジャガイモは皮をむき5mmくらいの輪切りに、タマネギはくし形切りに、クレソンは茎と葉の部分を分け、茎の部分は細かく切っておき、葉の部分はそのまましておく。
- ②鍋を中火にかけバターを溶かし、ポタージュの水分が飛んだところでタマネギを入れ焦がさないように炒める。
- ③タマネギが半透明になってきたらジャガイモ、クレソンの茎を入れ水を加えて中火にかける。
- ④沸騰したら弱火にして10分ほど煮込む。
- ⑤クレソンの葉の部分を3分ほどゆで、ざるにあげて細かく刻んでおく。
- ⑥③のジャガイモが菜箸で触ってすぐに崩れるくらいまで軟らかくなったら火を止める。
- ⑦⑤⑥と塩をミキサーにかけて滑らかにする。
- ⑧最後に生クリームを入れる。

メモ

クレソンは茎と葉を分けて調理することで鮮やかなグリーンポタージュが出来上がります。クレソン以外にニンジンやカボチャを使ったアレンジも可能です。その場合は③のときにニンジンやカボチャを入れます。

編集後記

- ・JAでは10年の節目となる総代会も終えて新役員体制も決まり、また、JAの加工食品に新メニューが加わるなど、11年目を迎え新たな一歩を踏み出し始めた雰囲気を感じられる時期でありました。
- ・また、今回掲載した記事の1つに、乳質改善表彰“10年連続最優秀賞”があります。少しでも畜産業務をかじった私にとって、その実績には驚きとともに、心より敬意を表することでありました。
- ・すでに組合員のみなさんは植え付け作業のまっただ中、とはいえ、始まったばかりの作業は降雪による中断。進まない作業に焦りを感じていることと思いますが、農作業事故には十分気をつけ、春の植え付けを乗り切ってください。
 (荒畑 正紀)

JAきたみらい概要

(平成25年4月15日現在)

- ・組合員数(正) 1,789人
- ・組合員数(准) 5,629人
- ・組合員戸数(正) 1,188戸
- ・貯金 100,877百万円
- ・貸出金 17,983百万円
- ・出資金 5,041百万円